

2025年度中間期 決算説明会資料 参考資料編



いよぎんホールディングス

2025.12.5

INDEX

いよぎんホールディングスを取り巻く環境	頁
・愛媛県の主要産業	2
・愛媛県の製造業	3
・瀬戸内圏域の産業構造	4
・瀬戸内圏域の経済指標Ⅰ	5
・瀬戸内圏域の経済指標Ⅱ	6

海運関連市況の状況	頁
・船舶ニーズと愛媛県シェア	7
・愛媛県内の造船所	8
・ドライバルク市況の見通し	9

預貸金の状況	頁
・預貸金期末残高内訳別推移	10
・業種別貸出金の残高・比率推移	11
・金利関連データ（時系列）	12
・債務者区分遷移表	13

市場運用・リスク管理	頁
・リスクカテゴリ別管理 ～有価証券投資部門～	14
・地域・セクター別投資残高 ～市場営業部門～	15

いよぎんホールディングスの状況	頁
・プロフィール	16
・グループ会社一覧	17
・拠点ネットワーク	18

愛媛県の主要産業

- 各圏域に全国トップクラスのシェアを誇る産業が集積
- 2023年の愛媛県の製造品出荷額等は5.6兆円（四国の48.0%）

■…愛媛県の全国に占めるシェア

松山圏域

松山圏域は、「小型貫流蒸気ボイラ」や「農業機械」、「削り節」において高いシェアを誇る企業が立地

宇和島圏域



新居浜圏域

製造品出荷額等（'23年）
2兆4,931億円

愛媛県の製造品出荷額等の約44.6%

特に新居浜地区は、住友グループの企業城下町として非鉄金属・化学・鉄鋼・機械器具が集積

今治圏域

全国 1位*2

国内船主の
外航船保有隻数
（24年12月時点）*1
全国総隻数
3,977隻

1,385隻
34.8%

全国 1位*2

タオル
（'23年）
全国出荷額
605億円

376億円
62.1%

宇摩（四国中央）圏域

全国 2位*2

パルプ・紙産業
（'23年）
全国出荷額
8兆1,581億円

6,501億円
8.0%

*1 (株)いよぎん地域経済研究センター（IRC）推計、全国順位はオペレーターを除いた場合

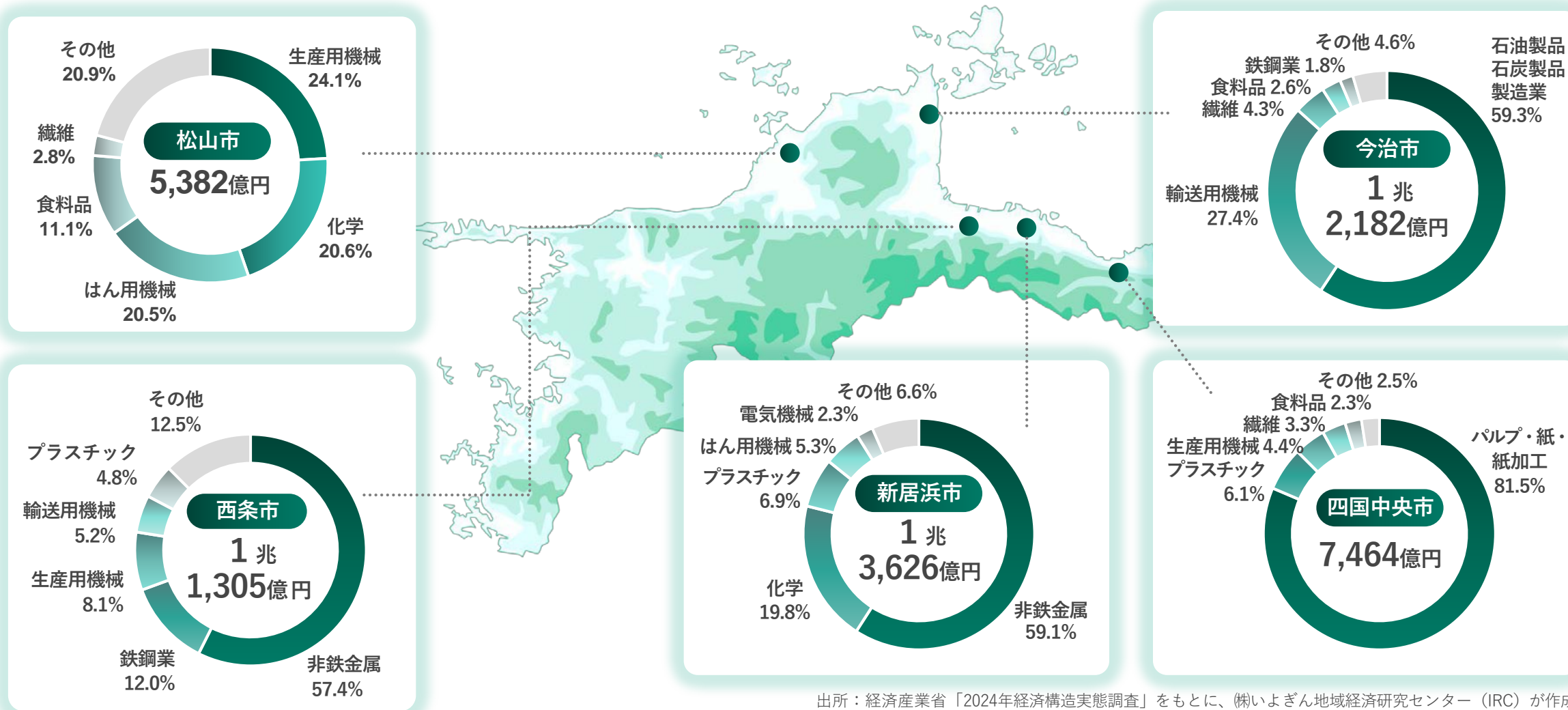
*2 全国順位は愛媛県の順位

出所：経済産業省「2024年経済構造実態調査」、農林水産省「令和5年漁業産出額（確報値）」をもとに作成

愛媛県の製造業

■ 愛媛県は地域ごとに特徴ある製造業が立地

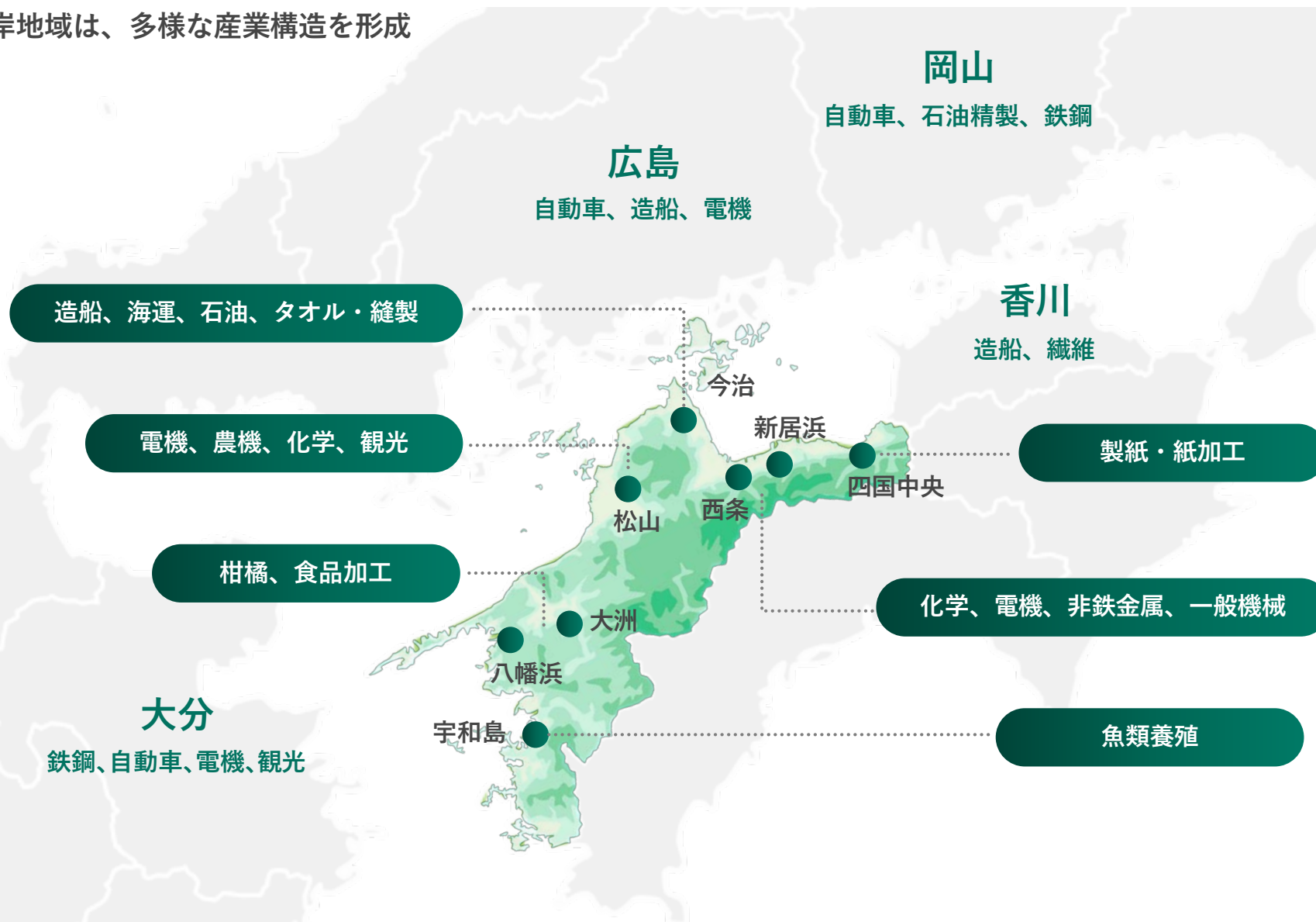
製造品出荷額等の市別構成比 上位5市



出所：経済産業省「2024年経済構造実態調査」をもとに、(株)いぎん地域経済研究センター（IRC）が作成

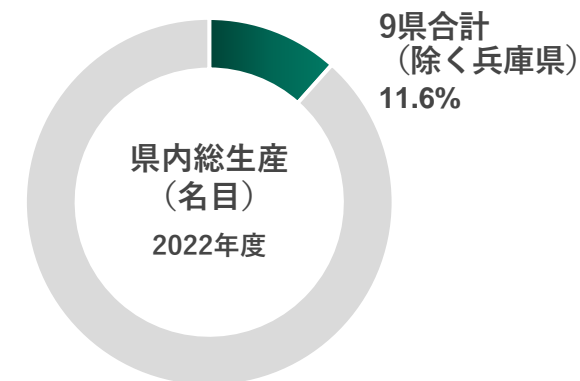
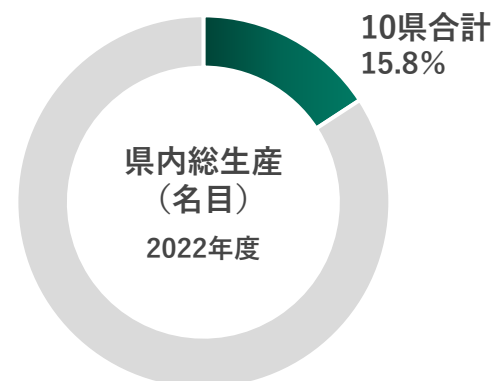
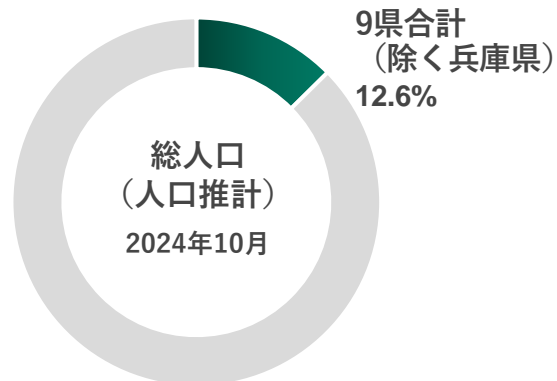
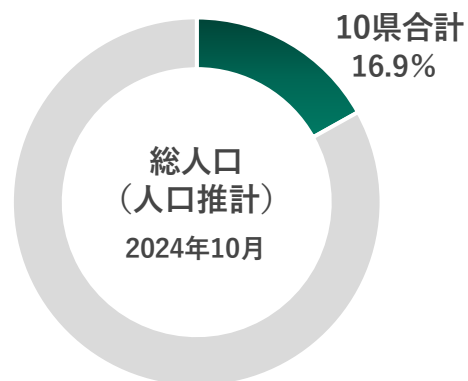
瀬戸内圏域の産業構造

■ 瀬戸内海沿岸地域は、多様な産業構造を形成



瀬戸内圏域の経済指標 I

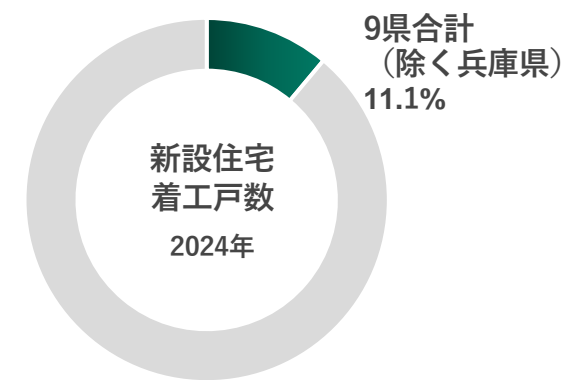
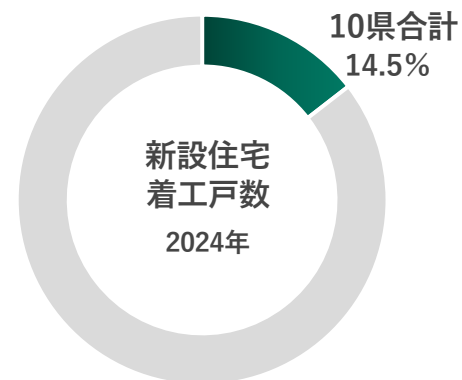
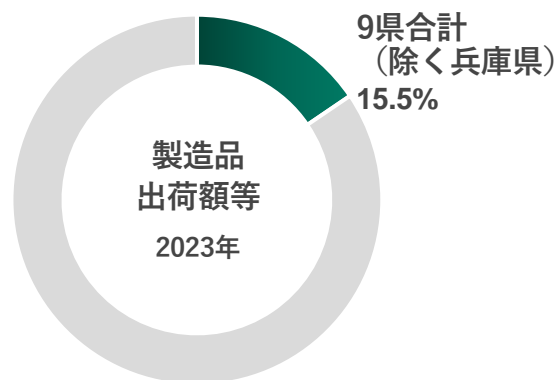
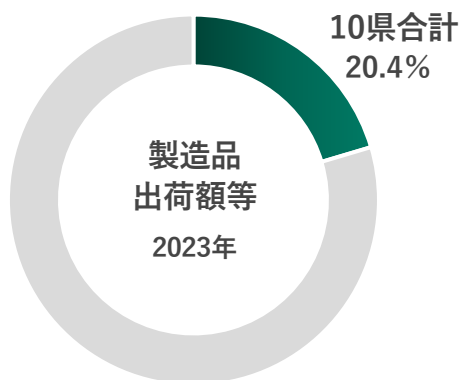
	総人口 (人口推計)	総面積 (国土地理院)	事業所数 (民営・除く公務)	従業員数 (民営・除く公務)	県内総生産 (名目)	県内総生産成長率 (実質)	1人当たり 県民所得
	2024年10月 (人)	2025年4月 (km ²)	2021年 (事業所)	2021年 (人)	2022年度 (億円)	2022年度 (%)	2022年度 (千円)
愛媛県	1,275,585	5,676	59,710	562,714	51,381	4.1	2,764
香川県	916,945	1,877	44,943	431,667	38,638	4.9	2,851
徳島県	685,454	4,147	34,119	304,530	32,658	▲2.4	3,170
高知県	656,011	7,102	33,064	275,477	24,074	0.5	2,703
大分県	1,085,385	6,341	50,589	475,034	49,007	6.9	2,871
福岡県	5,091,862	4,988	210,530	2,309,989	201,872	1.4	2,813
山口県	1,281,217	6,113	56,452	574,259	63,062	6.4	3,069
広島県	2,714,260	8,478	122,155	1,303,624	124,761	1.6	3,275
岡山県	1,831,218	7,114	78,646	838,870	73,450	2.5	2,553
9県合計 (A)	15,537,937	51,836	690,208	7,076,164	658,903	-	-
(A) / (C)	12.6	13.7	13.4	12.2	11.6	-	-
兵庫県	5,337,199	8,401	203,113	2,221,469	234,626	3.1	3,150
10県合計 (B)	20,875,136	60,237	893,321	9,297,633	893,529	-	-
(B) / (C)	16.9	15.9	17.3	16.0	15.8	-	-
全国 (C)	123,801,750	377,975	5,156,063	57,949,915	5,664,897	1.5	3,274



出所：総務省統計局「人口推計」、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省・経済産業省「経済センサス」、経済産業省「2024年経済構造実態調査」より作成

瀬戸内圏域の経済指標 II

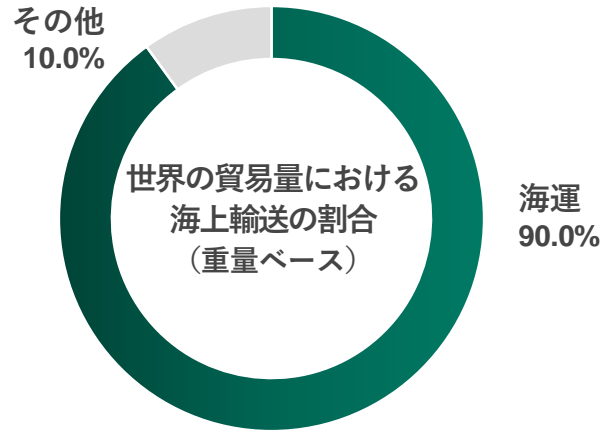
	製造品 出荷額等	卸売業 年間売上金額	小売業 年間売上金額	鉱工業 生産指数 (年平均)	新設住宅 着工戸数	有効求人倍率 (年平均)	完全失業率 (年平均)
	2023年 (百万円)	2021年 (百万円)	2021年 (百万円)	2024年 2020年 = 100	2024年 (戸)	2024年 (倍)	2024年 (%)
愛媛県	5,593,086	2,466,898	1,472,320	97.1	5,281	1.35	1.8
香川県	3,080,769	2,202,125	1,140,868	102.1	4,828	1.44	2.0
徳島県	2,333,664	803,495	706,601	101.4	2,770	1.16	1.7
高知県	653,960	719,995	703,764	97.7	2,031	1.09	1.7
大分県	5,683,829	1,245,665	1,186,677	102.9	6,707	1.35	2.0
福岡県	11,616,732	16,420,315	5,678,040	101.9	35,207	1.18	2.9
山口県	7,781,751	1,456,487	1,648,500	110.0	6,242	1.46	1.8
広島県	11,476,455	8,354,901	3,132,853	93.6	15,560	1.45	2.1
岡山県	9,603,957	3,363,511	2,028,495	103.8	9,266	1.44	2.1
9県合計 (A)	57,824,203	37,033,392	17,698,118	-	87,892	-	-
(A) / (C)	15.5	9.2	12.8	-	11.1	-	-
兵庫県	18,461,711	9,320,032	5,367,928	96.6	27,158	1.01	2.4
10県合計 (B)	76,285,914	46,353,424	23,066,046	-	115,050	-	-
(B) / (C)	20.4	11.5	16.7	-	14.5	-	-
全国 (C)	373,238,830	401,633,535	138,180,412	114.6	792,098	1.25	2.5



出所：経済産業省「2024年経済構造実態調査」、総務省・経済産業省「経済センサス」、各県資料、国土交通省「建築着工統計調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」より作成

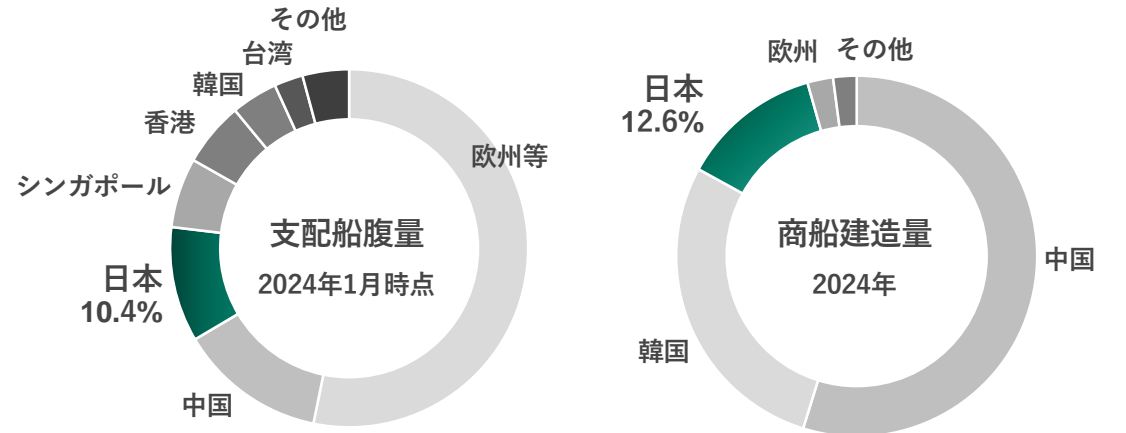
船舶ニーズと愛媛県シェア

■ 海上輸送量の現状と推移



出所：日本船主協会調べにより作成

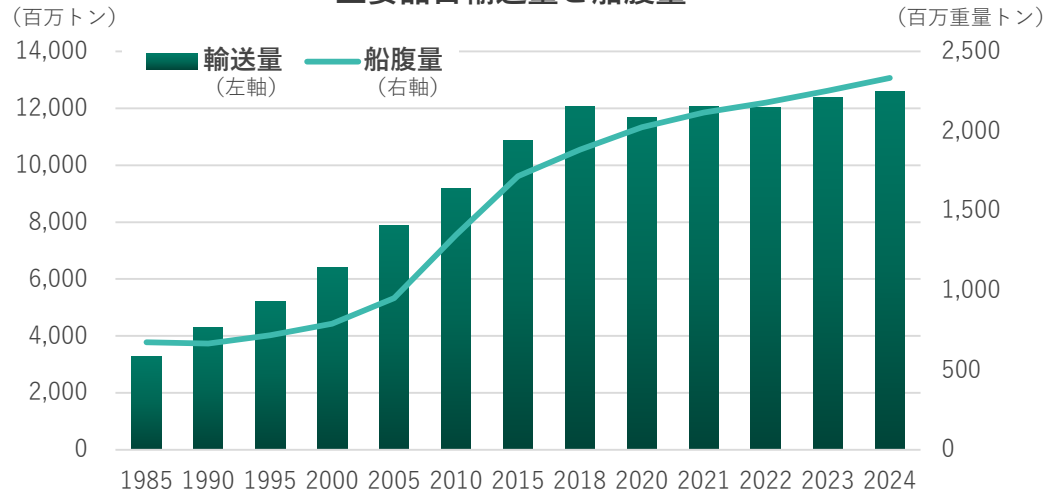
■ 海上輸送を支える愛媛県船主・造船所



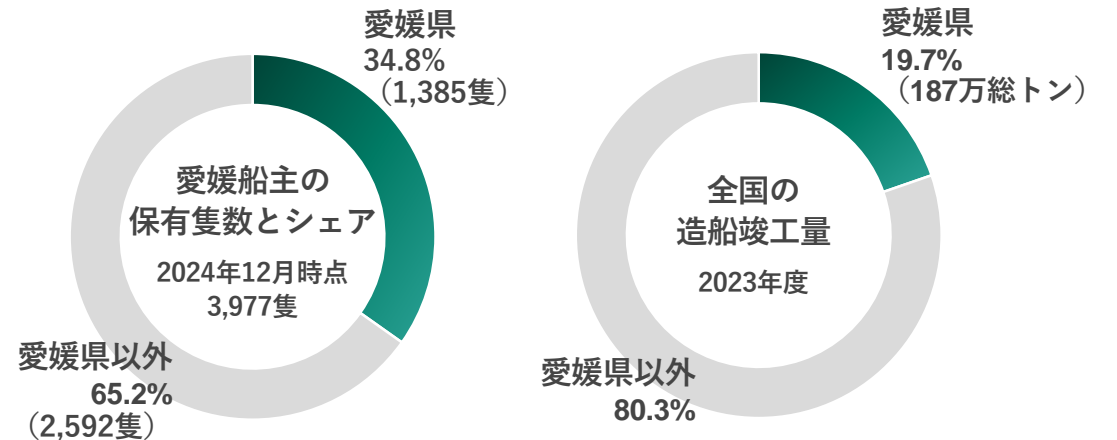
出所：SHIPPING NOW 2025-2026/データ編より作成

海上輸送量の実績

主要品目輸送量と船腹量

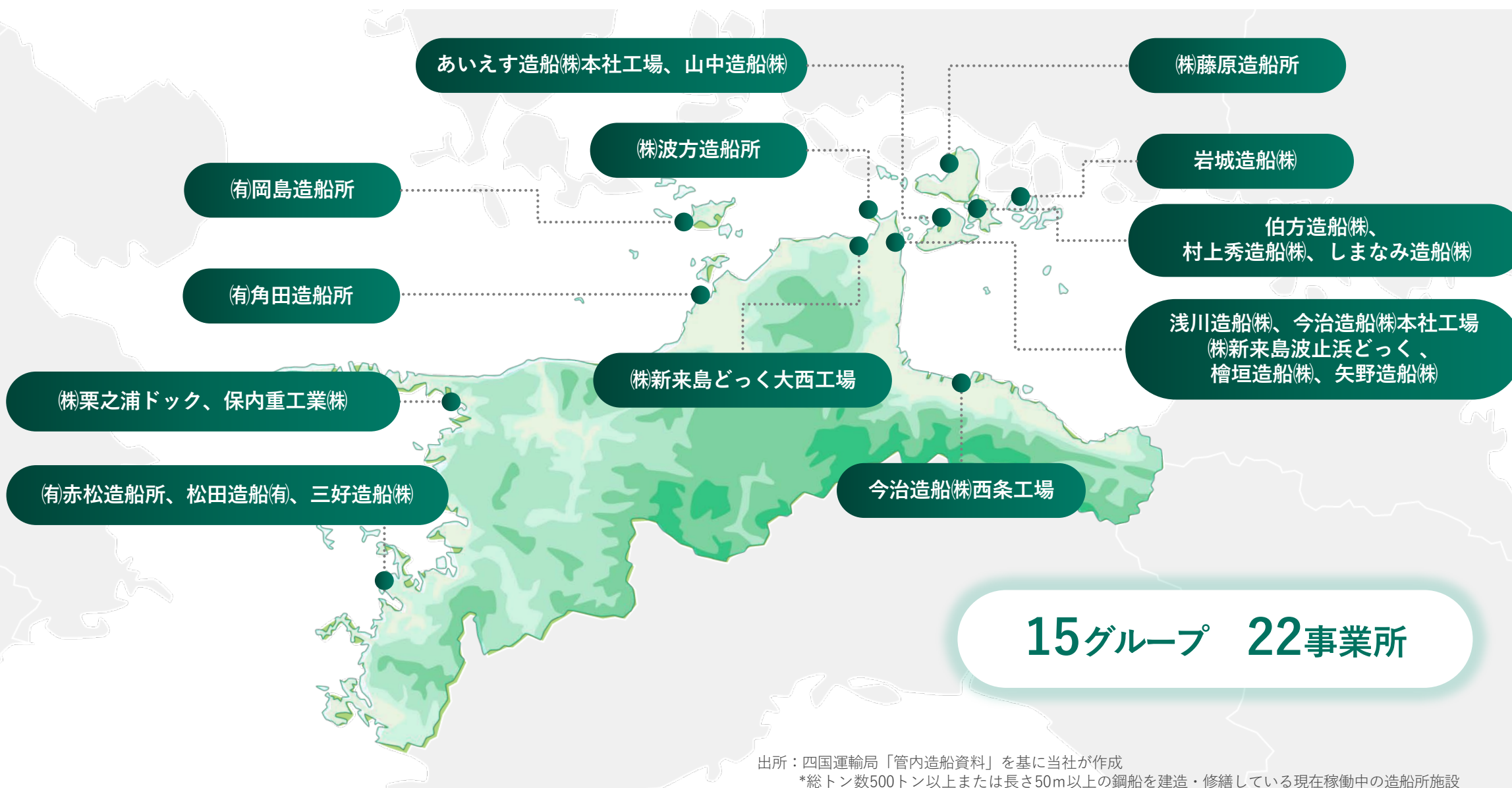


出所：SHIPPING NOW 2025-2026/データ編より作成



(株)いよぎん地域経済研究センター (IRC) 推計

愛媛県内の造船所

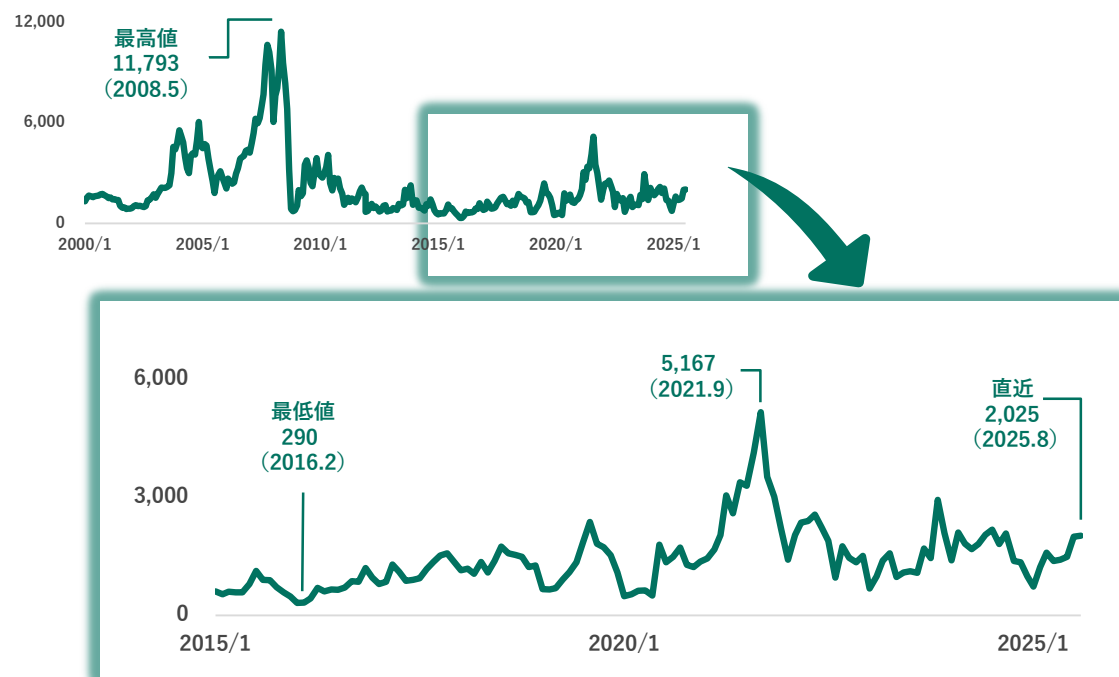


出所：四国運輸局「管内造船資料」を基に当社が作成
*総トン数500トン以上または長さ50m以上の鋼船を建造・修繕している現在稼働中の造船所施設

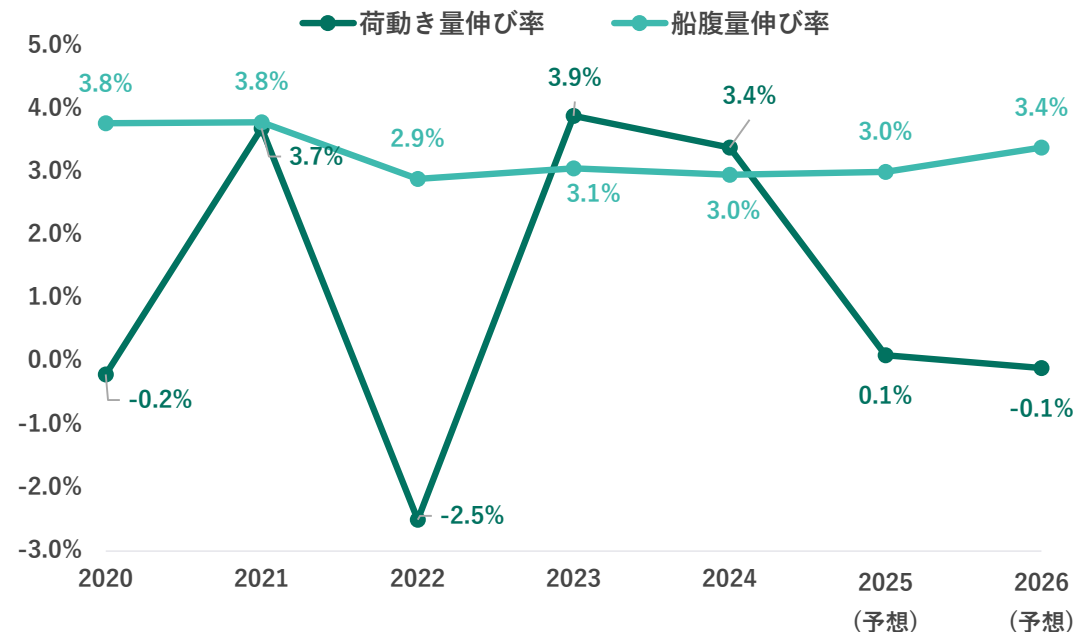
ドライバルク市況の見通し

ドライバルク輸送の需給について

■バルチック海運指数（BDI）の推移



■単位輸送量・船腹量伸び率推移



出所：「クラークソンリサーチ シッピングレビュー&アウトLOOK（2025年9月）」

■ドライバルク市況の現況と見通し

- ドライバルク市況の代表指数であるバルチック海運指数は、中国経済の不透明感を背景に前年末から年初にかけて下落基調で推移した。その後アメリカの関税政策への警戒感からマーケットに停滞感があったものの、徐々にセンチメントは回復し足元では前年のピーク並みに戻している。
- 2025～2026年の海上輸送量の増加率は船腹量の増加率を下回ると予想されているが、トンマイルの伸長や解撤量の増加、環境規制に対応するための減速運航など船腹供給がタイト化し市況にプラスとなる材料もあり、需給が大きく緩む場面は想定されにくい。一方で、不安材料として中国の景気動向や地政学リスクには引き続き注意が必要である。

預貸金期末残高内訳別推移

1.貸出金期末残高内訳別推移

(単位：億円)

	2021/9	2022/3	2022/9	2023/3	2023/9	2024/3	2024/9	2025/3	2025/9	2024/9比
総貸出金	49,591	50,688	52,574	53,260	55,415	56,674	57,017	58,800	60,169	3,152
一般貸出金	47,524	48,703	50,620	51,378	53,493	54,805	55,113	56,836	58,227	3,114
事業性貸出金（含む海外等）	35,861	36,962	38,877	39,649	41,815	43,118	43,390	44,931	46,159	2,769
事業性貸出金（国内店）	33,876	34,798	36,531	37,388	39,253	40,552	40,973	42,492	43,829	2,856
個人融資	11,663	11,740	11,743	11,729	11,677	11,686	11,722	11,904	12,067	345
住宅ローン	8,796	8,855	8,866	8,840	8,778	8,765	8,819	8,975	9,109	290
アパート・ビルローン*1	2,062	2,088	2,096	2,102	2,121	2,123	2,115	2,128	2,140	25
カードローン	229	219	216	211	210	206	207	206	210	3
地公体向貸出金等	2,066	1,985	1,953	1,881	1,921	1,869	1,903	1,963	1,942	39

*1アパート・ビルローンは「制度融資」のみの計数

2.預金等預り資産期末残高内訳別推移

(単位：億円)

	2021/9	2022/3	2022/9	2023/3	2023/9	2024/3	2024/9	2025/3	2025/9	2024/9比
総預金等+預り資産…(A)	69,569	70,152	70,274	71,960	72,259	73,578	74,397	75,771	75,491	1,094
総預金等	66,030	66,541	66,697	68,232	68,370	69,490	70,123	71,330	70,669	546
総預金	59,562	60,418	60,998	61,890	62,457	65,010	64,864	65,170	65,899	1,035
個人	37,940	38,508	38,899	39,163	39,429	39,612	39,612	39,674	39,588	△24
一般法人	18,579	19,151	19,498	19,503	20,257	20,840	20,993	20,850	22,558	1,565
公金	1,140	1,417	1,189	1,475	1,116	2,187	1,593	1,978	1,585	△8
金融	306	452	304	674	300	677	475	639	533	58
海外・オフショア	1,595	888	1,106	1,074	1,352	1,691	2,189	2,026	1,634	△555
NCD	6,468	6,122	5,699	6,341	5,913	4,480	5,258	6,160	4,769	△489
一般法人	4,762	4,450	3,856	4,630	3,828	3,547	3,458	4,340	3,171	△287
公金	1,706	1,670	1,841	1,710	2,083	931	1,795	1,815	1,595	△200
一般法人預金（含むNCD）	23,341	23,602	23,355	24,133	24,085	24,388	24,451	25,191	25,729	1,278
公金預金（含むNCD）	2,846	3,088	3,030	3,185	3,200	3,118	3,389	3,794	3,181	△208
外貨預金（残高）*2	1,160	1,331	1,386	1,360	1,434	1,306	1,304	1,598	1,601	297
個人預金+個人預り資産	41,374	42,010	42,367	42,781	43,199	43,576	43,763	43,987	44,271	508
個人預金	37,940	38,508	38,899	39,163	39,429	39,612	39,612	39,674	39,588	△24
個人預り資産	3,434	3,501	3,468	3,617	3,769	3,963	4,150	4,313	4,683	533

<預り資産（末残ベース）>

伊予銀行預り資産（除く預金等）…(B)	3,539	3,611	3,577	3,727	3,888	4,087	4,273	4,441	4,822	549
国債	200	213	239	282	337	417	491	589	703	212
投信	640	678	644	670	705	771	815	817	931	116
一時払保険	2,072	2,054	2,036	2,083	2,121	2,113	2,146	2,167	2,222	76
金融商品仲介	625	664	656	691	724	786	820	866	964	144
四国アライアンス証券残高…(C)	2,463	2,460	2,542	2,750	3,007	3,218	3,475	3,659	4,259	784
グループ預り資産残高…(D)=(B)+(C)	6,002	6,071	6,119	6,478	6,896	7,306	7,748	8,101	9,081	1,333
預り資産構成比…(D)/((A)+(C))	8.3%	8.4%	8.4%	8.7%	9.2%	9.5%	9.9%	10.2%	11.4%	-

*2外貨預金（残高）は海外・オフショアを除く計数

業種別貸出金の残高・比率推移

業種別貸出金の構成比に大きな変化はなく、バランスのとれた運用状況

(単位：億円、%)

	FY20 2Q		FY21 2Q		FY22 2Q		FY23 2Q		FY24 2Q		FY25 2Q		FY24 2Q比	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比	増加額	残高増加率
製造業	6,717	14.2	6,525	13.7	6,539	13.0	6,936	13.1	7,093	13.0	7,383	12.8	+ 290	+ 4.1%
農業	29	0.1	28	0.1	28	0.1	40	0.1	37	0.1	40	0.1	+ 3	+ 8.1%
林業	4	0.0	4	0.0	4	0.0	5	0.0	5	0.0	5	0.0	+ 0	+ 0.0%
漁業	98	0.2	81	0.2	68	0.1	72	0.1	83	0.2	88	0.2	+ 5	+ 6.0%
鉱業	68	0.1	64	0.1	42	0.1	30	0.1	38	0.1	35	0.1	△ 3	△ 7.9%
建設業	1,264	2.7	1,277	2.7	1,387	2.8	1,513	2.9	1,652	3.0	1,646	2.8	△ 6	△ 0.4%
電気・ガス・ 熱供給・水道業	1,674	3.6	1,974	4.1	2,078	4.1	2,338	4.4	2,451	4.5	2,609	4.5	+ 158	+ 6.4%
情報通信業	178	0.4	182	0.4	179	0.4	127	0.2	129	0.2	129	0.2	+ 0	+ 0.0%
運輸業	8,016	17.0	8,475	17.8	10,306	20.5	11,688	22.1	12,511	22.9	14,431	25.0	+ 1,920	+ 15.3%
うち海運	6,660	14.1	7,166	15.1	9,043	18.0	10,327	19.5	11,221	20.6	12,999	22.5	+ 1,778	+ 15.8%
卸売・小売業	5,099	10.8	5,101	10.7	5,308	10.6	5,699	10.8	5,620	10.3	5,619	9.7	△ 1	△ 0.0%
金融・保険業	1,813	3.8	1,700	3.6	2,018	4.0	2,102	4.0	2,416	4.4	2,644	4.6	+ 228	+ 9.4%
不動産業	3,122	6.6	3,117	6.5	3,136	6.2	3,271	6.2	3,475	6.4	3,749	6.5	+ 274	+ 7.9%
各種サービス業	4,834	10.3	4,834	10.2	4,795	9.5	4,805	9.1	4,821	8.8	4,712	8.1	△ 109	△ 2.3%
うち医療関連	2,050	4.3	2,076	4.4	2,044	4.1	2,023	3.8	1,983	3.6	2,041	3.5	+ 58	+ 2.9%
地方公共団体	2,221	4.7	2,036	4.3	1,946	3.9	1,907	3.6	1,889	3.5	1,929	3.3	+ 40	+ 2.1%
その他	11,994	25.4	12,202	25.6	12,387	24.7	12,314	23.3	12,373	22.7	12,814	22.2	+ 441	+ 3.6%
合計	47,140	100.0	47,605	100.0	50,227	100.0	52,852	100.0	54,600	100.0	57,839	100.0	+ 3,239	+ 5.9%

(国内店分、除く特別国際金融取引勘定)

*1 「不動産業」の中に「物品賃貸業」を含めて記載している。

なお、「物品賃貸業」を除いたFY25 2Qの「不動産業」は3,499億円であり、FY24 2Q比246億円増加、増加率+7.6%となっている。

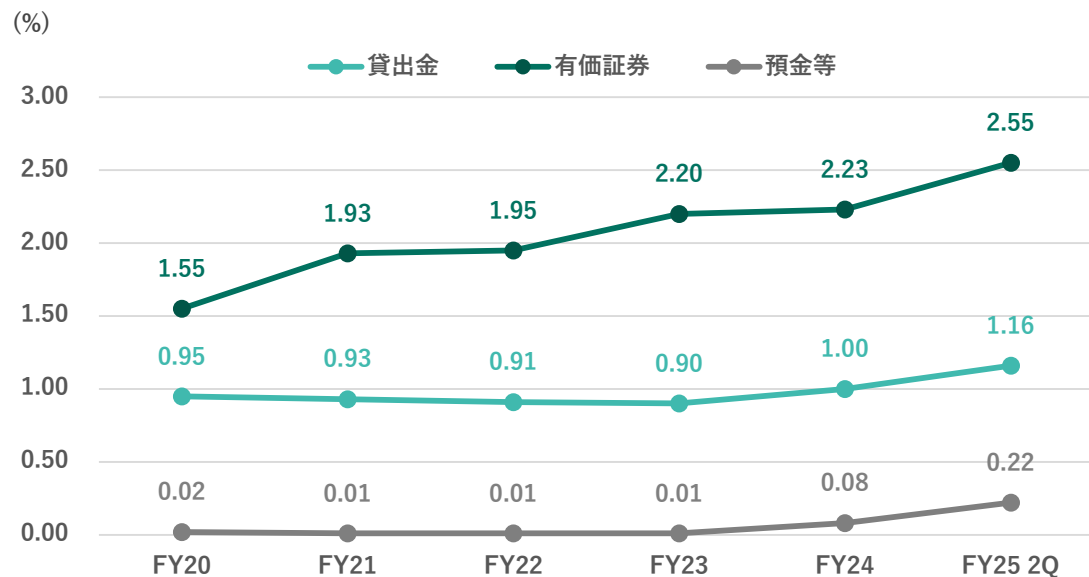
また、「その他」の中には「個人による貸家業」(FY25 2Q 2,211億円)を含んでいる。

*2 「うち海運」は日本標準産業分類のうち「水運業」(中分類)に該当する残高を表示している。

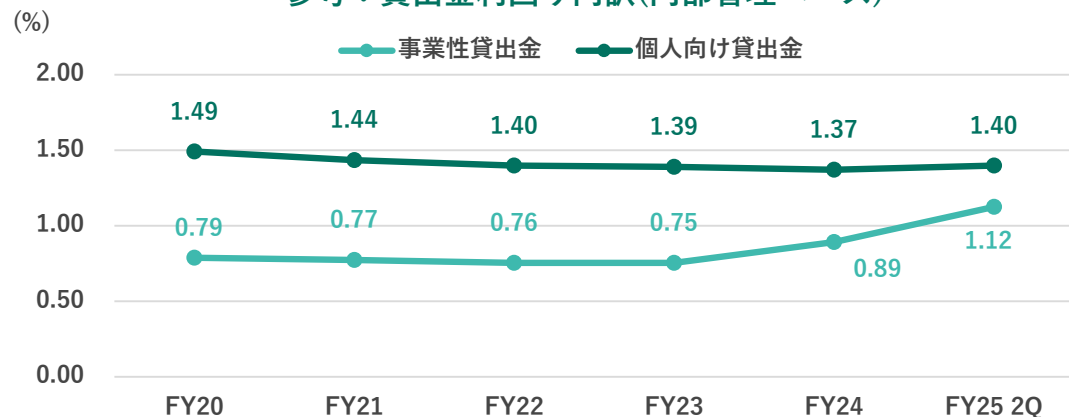
*3 FY24より「うち医療関連」に「その他介護施設」を含めて記載している。

金利関連データ（時系列）

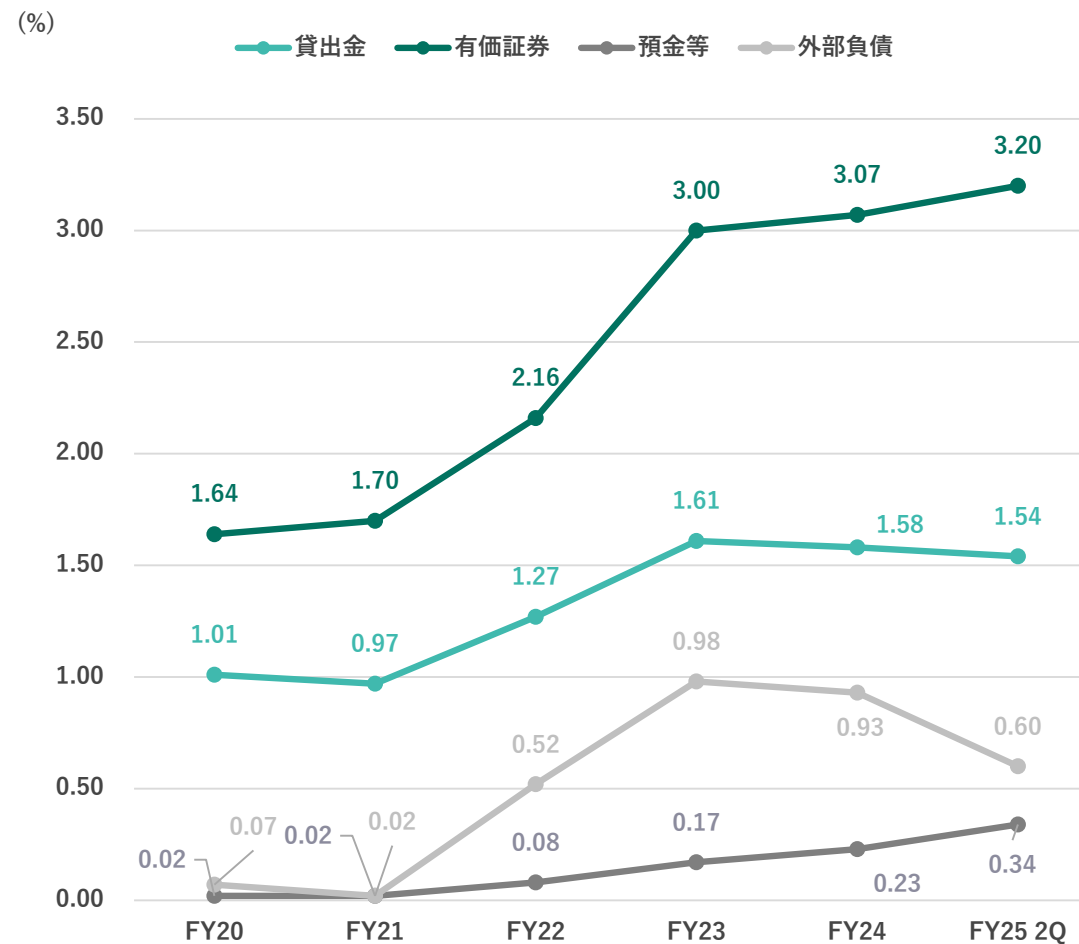
国内部門利回り



参考：貸出金利回り内訳(内部管理ベース)



全店利回り



※全店利回り：邦貨・外貨含む全体の利回り
国内部門利回り：国際部門(外貨・非居円等)を除く利回り

債務者区分遷移表

- 取引先の事業性評価を通じた企業価値向上支援の取組みを展開
- 「企業サポート室」を中心に企業再生支援を実施

～再生ファンド、中小企業活性化協議会など各種再生スキームやソリューション営業の活用～

事業性と信先に対する債務者区分の遷移（1年間）

上段：債務者数
下段：与信額（億円）

			FY25 2Q							破綻懸念以下への劣化率	好転	劣化
			合計	正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
FY24 2Q	正常先	18,025	16,507	15,960	452	22	37	22	14	0.40%	—	547
		44,530	45,298	44,587	687	10	9	2	3	0.03%		711
	その他 要注意先	2,206	2,089	525	1,473	12	72	2	5	3.58%	525	91
		3,486	3,243	640	2,429	19	151	1	3	4.45%	640	174
	要管理先	91	79	8	5	51	14	1	0	16.48%	13	15
		246	227	6	5	118	98	0	0	39.91%	11	98
	破綻懸念先	442	396	16	47	3	305	15	10		66	25
		702	645	7	69	5	497	20	46		81	67
実質破綻先	89	63	0	0	0	0	57	6		0	6	
	20	14	0	0	0	0	13	1		0	1	
破綻先	27	13	0	0	0	0	0	13		0	—	
	8	4	0	0	0	0	0	4		0		
合計	20,880	19,147	16,509	1,977	88	428	97	48		604	684	
	48,992	49,431	45,240	3,190	152	756	36	57		732	1,050	

*1 2024年9月末において各債務者区分に属していた債務者が、2025年9月末においてどの債務者区分に遷移したかを表示している。

*2 遷移後の残高は、2025年9月末における償却後の残高である。

リスクカテゴリー別管理 ～有価証券投資部門～

(単位：億円)

リスクカテゴリー ^{*1}	FY25 2Q											主な収益の源泉
	簿価残高	評価損益	時価残高	構成比		総合損益 ^{*2}	利息・配当収入			売却・償却損益等 ^{*4}	評価損益増減(FY24比)	
				FY24比			受取利息 ^{*3}	調達コスト				
円貨債券	5,397	△91	5,306	27.6%	△1.8%	7	13	26	14	2	△8	円金利の長短金利差
うち国債	1,667	+18	1,685	8.8%	△0.6%	7	13	17	4	0	△6	
うち物価連動国債	759	+17	776	4.0%	△0.1%	8	13	15	2	0	△5	期待インフレ率の上昇
うち金利スワップ等	1,860	+57	-	-	-	8	△1	△1	0	0	+9	金利リスクの削減
外貨債券（為替ヘッジ付）	5,590	+12	5,602	29.1%	+1.6%	47	17	94	77	△47	+78	海外金利の長短金利差
外貨債券（為替ヘッジ無）	3,786	+62	3,847	20.0%	+2.7%	176	69	78	9	2	+105	為替差益・利息収入
国内外株式（含む株式投信）	1,038	+2,720	3,758	19.5%	△2.0%	359	46	48	3	291	+22	取引先を中心とした国内外企業の成長
オルタナティブ	650	+94	744	3.9%	△0.5%	55	12	14	2	20	+23	
ヘッジファンド等	310	△9	301	1.6%	△0.0%	10	△1	0	1	0	+11	外部委託運用による戦略分散
不動産関連	181	+79	260	1.4%	△0.5%	35	10	10	1	20	+5	不動産の賃料収入と価格上昇による値上がり益
プライベート・エクイティ	110	+1	111	0.6%	+0.0%	3	2	3	0	0	+0	未上場株式の経営改善等による企業価値向上
エマージング株	49	+23	72	0.4%	+0.0%	7	1	1	0	0	+6	新興国の成長と為替差益
合計	16,461	+2,795	19,257	100.0%	-	643	156	260	104	267	+220	

*1 有価証券投資部門で投資している資産を、勘定科目に関わらず主たるリスクに応じて集計したもの（金銭の信託等を含むベース）。

*2 「総合損益」および「利息・配当収入」は、調達コストとして3ヶ月物SOFR金利等を控除しているが、実際の調達コストとは異なる。

*3 受取利息については、資金運用収益に計上されるファンド等の解約損益を含む。 *4 デリバティブ関連損益等を含む。

<円貨債券および外貨債券のうち、信用リスク・証券化商品等への投資状況>

信用リスク	1,982	△4	1,979	10.3%	△0.7%	21	2	12	10	0	+18	国内外企業の事業継続性等
証券化商品	0	+0	0	0.0%	△0.0%	0	△0	0	0	0	+0	住宅ローン等の貸付利息収入
小計	1,982	△4	1,979	10.3%	△0.7%	+21	+2	+12	+10	+0	+18	

地域・セクター別投資残高 ～市場営業部門～

地域別残高（最終リスク国ベース）

（単位：億円）

	FY25 2Q			
	貸出残高	コミットメント 残高	合計	構成比率
日本	653	17	671	41.0%
北米	376	97	474	29.0%
（うち米国）	371	97	469	28.7%
欧州	278	25	304	18.6%
アジア・オセアニア	116	4	121	7.4%
中東	12	0	12	0.7%
中南米	29	0	29	1.8%
その他 （国際機関）	22	0	22	1.4%
合計	1,490	146	1,636	100.0%

*シンガポール支店分を除く

セクター別残高（最終リスク国ベース）

（単位：億円）

	FY25 2Q			
	貸出残高	コミットメント 残高	合計	構成比率
電気・ガス	689	15	704	43.1%
（うち太陽光発電）	336	0	336	20.6%
製造	224	45	270	16.5%
各種サービス	142	0	142	8.7%
金融	76	18	94	5.8%
運輸	188	4	192	11.8%
（うち航空機ファイナンス）	140	0	140	8.6%
卸売・小売	42	0	42	2.6%
建設	10	0	10	0.6%
その他	117	62	179	11.0%
合計	1,490	146	1,636	100.0%

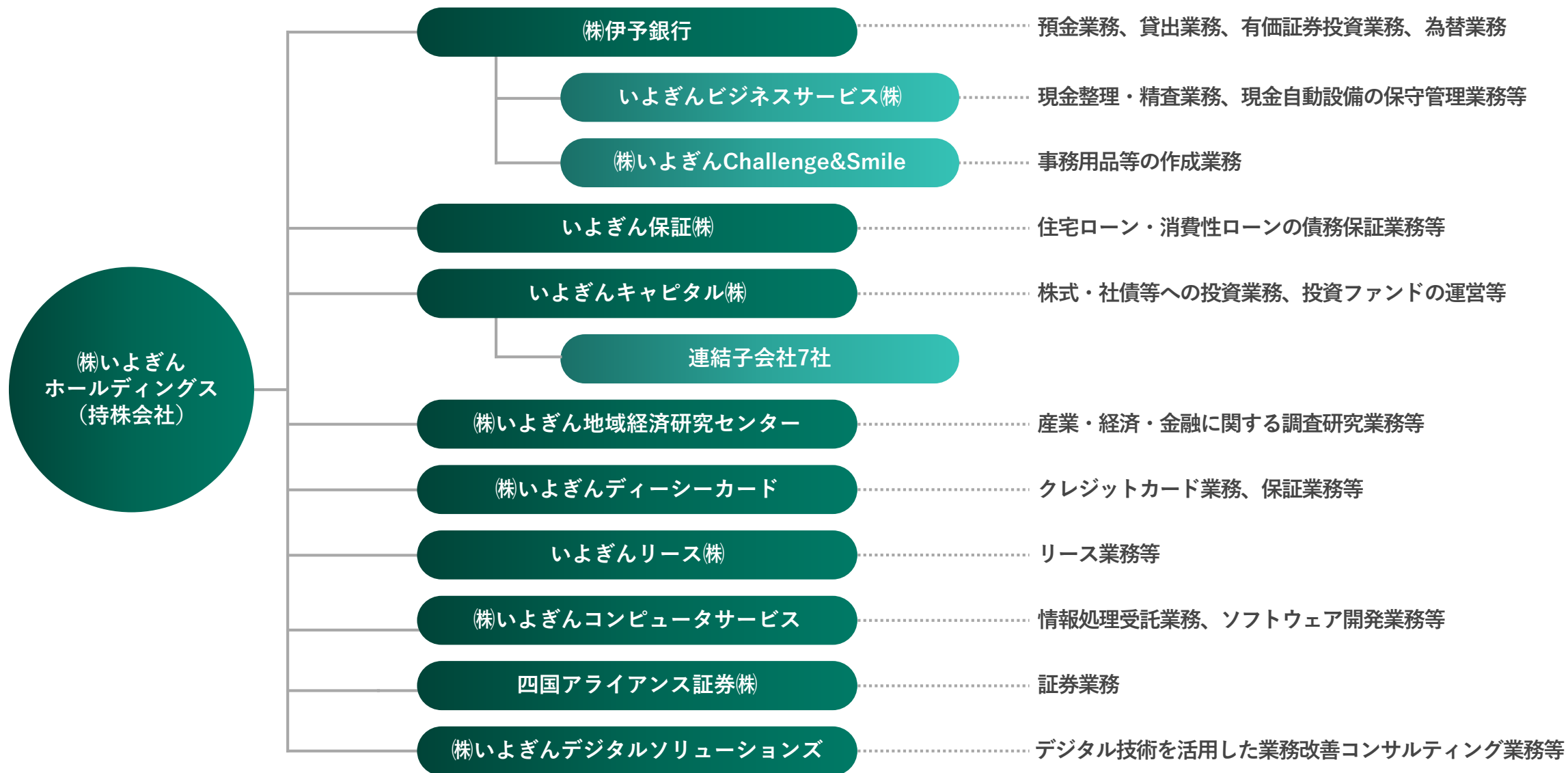
*シンガポール支店分を除く

プロフィール

商号	株式会社いよぎんホールディングス	株式会社伊予銀行
設立・創業	令和4（2022）年10月3日設立	明治11（1878）年3月15日創業（第二十九国立銀行）
資本金	200億円	209億円
外部格付	AA：日本格付研究所（JCR） A+：格付投資情報センター（R&I） —	AA：日本格付研究所（JCR） A+：格付投資情報センター（R&I） A-：スタンダード&プアーズ（S&P）
本社・本店所在地	愛媛県松山市南堀端町1番地	
連結従業員数	3,144人（臨時除く）	
拠点ネットワーク	伊予銀行：国内150か店（店舗内店舗27、出張所8を含む）、海外1か店（シンガポール）、海外駐在員事務所1か所（上海） いよぎんリース：国内10か店 四国アライアンス証券：国内5か店（オフィス2を含む）	

〈2025年9月30日現在〉

グループ会社一覧



〈2025年9月30日現在〉

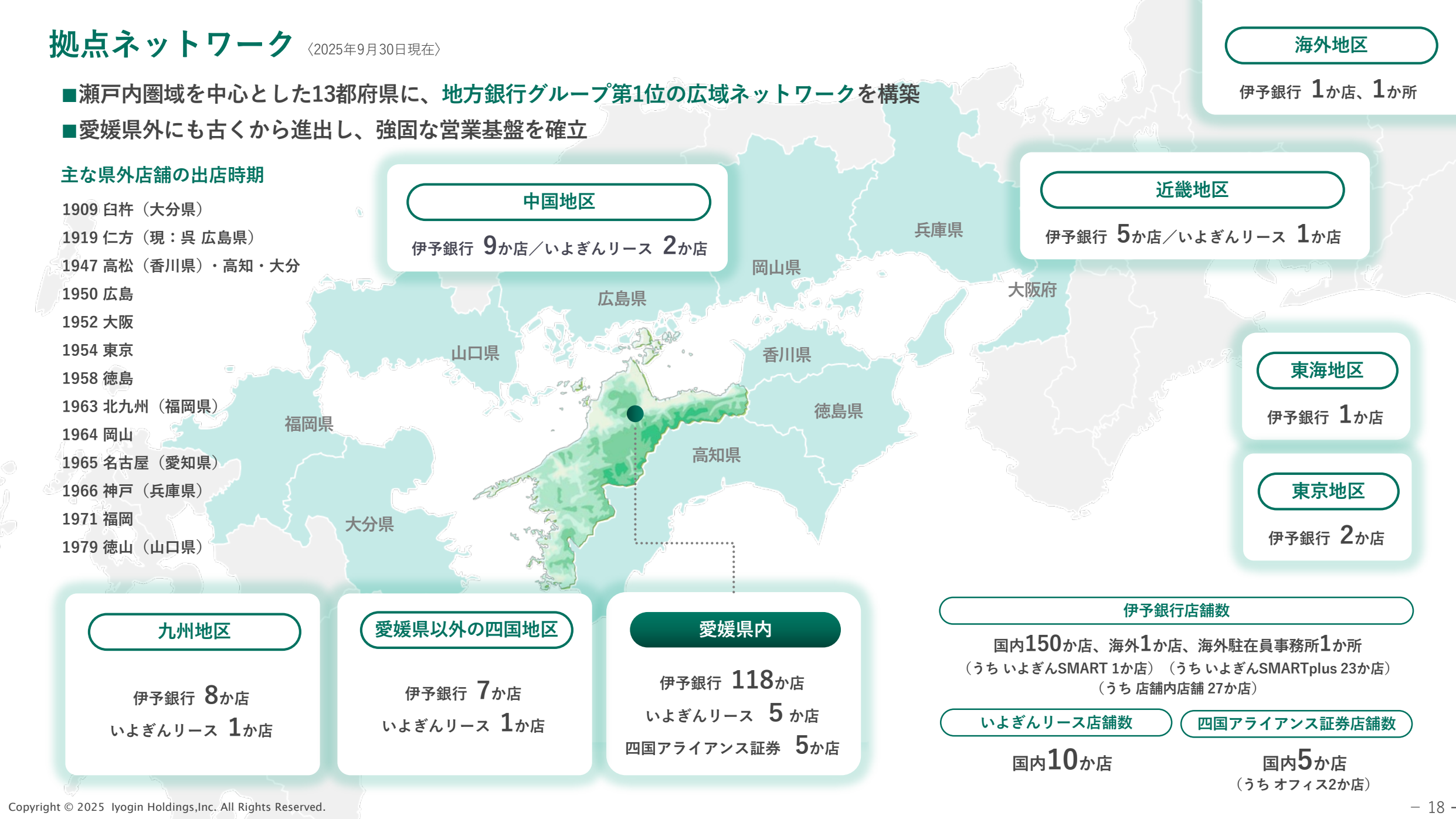
*上記の他、持分法非適用の非連結子会社5社、持分法非適用の関連会社3社を有しております。

拠点ネットワーク 〈2025年9月30日現在〉

- 瀬戸内圏域を中心とした13都府県に、地方銀行グループ第1位の広域ネットワークを構築
- 愛媛県外にも古くから進出し、強固な営業基盤を確立

主な県外店舗の出店時期

- 1909 臼杵 (大分県)
- 1919 仁方 (現：呉 広島県)
- 1947 高松 (香川県)・高知・大分
- 1950 広島
- 1952 大阪
- 1954 東京
- 1958 徳島
- 1963 北九州 (福岡県)
- 1964 岡山
- 1965 名古屋 (愛知県)
- 1966 神戸 (兵庫県)
- 1971 福岡
- 1979 徳山 (山口県)



海外地区

伊予銀行 1か店、1か所

中国地区

伊予銀行 9か店 / いよぎんリース 2か店

近畿地区

伊予銀行 5か店 / いよぎんリース 1か店

東海地区

伊予銀行 1か店

東京地区

伊予銀行 2か店

九州地区

伊予銀行 8か店
いよぎんリース 1か店

愛媛県以外の四国地区

伊予銀行 7か店
いよぎんリース 1か店

愛媛県内

伊予銀行 118か店
いよぎんリース 5か店
四国アライアンス証券 5か店

伊予銀行店舗数

国内150か店、海外1か店、海外駐在員事務所1か所
(うちいよぎんSMART 1か店) (うちいよぎんSMARTplus 23か店)
(うち店舗内店舗 27か店)

いよぎんリース店舗数

国内10か店

四国アライアンス証券店舗数

国内5か店
(うち オフィス 2か店)